

①石巻市水産物地方卸売市場石巻売場建設事業

受賞機関 宮城県 石巻市

<評価>

壊滅的な被害を受けた水産業の拠点施設である石巻魚市場施設を、世界規模の水産物卸売市場に整備した事業。世界有数規模の施設を設計施工一括発注方式により3ヵ年で竣工させた点や、高度な衛生管理・鮮度管理に対応した魚市場整備により水産業の拠点となることが評価された。

はじめに

平成23年3月に発生した東日本大震災による巨大津波により、壊滅的な被害を受けた本市水産業の拠点施設・石巻魚市場施設の早期復興を図るため、同年7月から仮設テントにより卸売業務を再開し、平成25年8月からCM方式を取り入れた建設事業に着手、業務を継続しながら整備を進め、平成27年8月に復興工事が完成し、翌9月より全棟供用開始となった。

事業の概要・成果

完成した魚市場は、鉄骨造一部4階建、延床面積4万6千㎡、上屋根の長さが約876mと国内最大規模で、荷捌き施設である東・中央・西棟の3棟と管理棟からなっている。岸壁と荷捌き所の一体的な整備と水産物の陸揚げ・荷捌きエリアの再ゾーニングにより効率的かつ衛生的な陸揚げ・荷捌き体制を構築しており、車両・人・水産物の動線を明確に区分した。また、漁業種別別に選別・陳列・立替等作業エリアを区画化することにより、車・人から水産物への汚染防止を図っている。

荷捌き場は入場時のID認証により管理され、手洗い・長靴洗浄を徹底する計画となっており、また各所に配置さ



石巻市水産物地方卸売市場石巻売場（石巻魚市場）

れた映像カメラにより記録管理され、衛生的な運用を確認するトレーサビリティ機能を有している。管理棟は陸揚げから出荷までを管理し、外部の方の見学者通路、研修室を備えている他、放射能検査室、低温室、取水施設、排水処理施設、太陽光パネルの設置、水産物の温度管理など、国が目指す高度衛生管理に適合する食の安全安心を確保した施設となっている。

おわりに

当該施設は、水産物の付加価値向上や国際的な販路拡大も視野に入れた閉鎖型の高衛生管理型施設として整備され、本市の基幹産業である水産業はもとより、本市の復興の牽引役として期待されている。

賛助会員 鹿島建設(株)、(一財)漁港漁場漁村総合研究所、(株)横河建築設計事務所

②女川湾口防波堤災害復旧事業

受賞機関 宮城県 土木部 港湾課、宮城県 石巻港湾事務所
宮城県 農林水産部 漁港復興推進室、宮城県 東部地方振興事務所 水産漁港部

<評価>

壊滅的な被害を受けた女川湾入口部の重要な防災施設災害復旧事業。災害復旧事業であることから「原形復旧」を基本としつつも、ケーソン根元に根固めブロックを配置して粘り強い構造へ対応した点や、潜堤の天端高さを変更することで背後の防潮堤計画高を抑え、女川町の復興まちづくりに寄与した点が評価された。

はじめに

女川港は宮城県牡鹿郡女川町に位置し、地域の基幹産業である水産品や石材等を扱う地方港湾である。女川湾の北半分が港湾区域、南半分が漁港区域であり、どちらも宮城県が管理している。

湾口防波堤は、昭和35年5月のチリ地震津波を契機に建設されたもので昭和42年に竣工している。平成23年3月の東日本大震災により、施設のほぼすべてが倒壊・消失したが、平成24年から復旧工事に着手し、平成28年3月に完成した。

事業の概要・成果

被災原因としては、押し波時に開口部となっている潜堤部が津波によって崩壊し、徐々にケーソン部の捨石マウンドも崩壊していき、引き波時にさらに洗掘され、ケーソンの倒壊に至ったと考えられた。このため潜堤部の被覆ブロックについては水理模型実験等の解析も踏まえ、L1津波*対応の重量で個々を連結することによってL2津波*に対して粘り強い効果を期待する構造とした。

この事業は復旧延長L=753.2m、総事業費は約81億円



女川湾口防波堤

の大規模事業となったが、厳しい気象条件の中で施工に携わった方々や県外自治体の応援職員のみなさまの活躍もあって計画どおり工事を進めることができた。

この防波堤の完成により、女川湾内への津波高さを抑制して、津波到達時間を遅らせる効果が生じ、湾内の防潮堤高さを約2m下げることが可能となり、背後のまちづくりにも寄与している。

※L1津波：数十年～百数十年に一度発生する津波

L2津波：数百年に一度発生する津波

おわりに

この防波堤が港の安全はもちろん、人命や財産を守る重要な津波防御施設として機能することを期待している。

賛助会員 五洋建設(株)東北支店、東洋建設(株)東北支店